

様式（第8条関係）

審 議 結 果

次の審議会を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	令和2年度 第1回益田市文化財保護審議会
開催日時	令和2年7月30日(木) 13時00分から15時00分まで
開催場所	益田市立図書館 視聴覚室
出席者	委 員 村上勇会長、西尾克己副会長、山崎一郎委員、 大森庸司委員、河田周委員、藤原宏夫委員 教育委員会 柳井教育長、野村教育部長、山本文化財課長、 外 文化財課職員6名
議 題	【会議】 ○会長・副会長の選任 ○報告事項 ① 県指定有形文化財医光寺総門屋根修理工事について ② 三宅御土居跡地内樹木伐採及び樹木枝下ろしについて ③ 歴史を活かしたまちづくり調査研究・魅力発信事業について ④ 国史跡スクモ塚古墳内容確認調査について ⑤ 日本遺産の認定について ⑥ 古文書の寄贈・寄託について ⑦ 秦佐八郎博士顕彰委員会委員選出について ⑧ 萬福寺庭園の修復について ○審議事項 ・市指定文化財の名称等変更について
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	なし
審議経過	【会議】 ○会長・副会長の選任 ・委員の互選により、事務局提案に基づき会長は村上委員、副会長は西尾委員で了承。 ○報告事項 各項目について、事務局から実施状況等を説明。 《委員からの主な意見》 ①県指定有形文化財医光寺総門屋根修理工事について ・修理履歴が分かるよう以前の修理も含めて調査・整理しておく必要がある。 ・戦国期まで遡るといふ見解について、どの部分なのか、また根拠について、建築史の専門家の意見をもらっておいた

	<p>方が良い。</p> <p>②三宅御土居跡地内樹木伐採及び樹木枝下ろしについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裸地の箇所は崩落が進むと思うので、将来的には発掘調査をした後に、芝をかけるなど補植や、土塁の修復も必要と思う。 <p>③歴史を活かしたまちづくり調査研究・魅力発信事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田市は歴史文化基本構想に加え、地域計画の認定もうけており、県よりも先行しているので、県の文化財保存活用大綱との調整をうまくやっておくと後々良い。 <p>④国史跡スクモ塚古墳内容確認調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見無し <p>⑤日本遺産の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都茂鉦山の実態はよく分かっていない。関連諸分野との総合的な学術調査を行っておいたほうが良い。 ・みんなが同じ目標を共有することから始めたら良い。 <p>⑥古文書の寄贈・寄託について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俣賀家文書について、文化財指定を見越しているなら、単に古いからというのではなくて、益田市の歴史にとってどういう意味を持って、文化財としてどういう価値があるかを強調できるような整理をしておいた方が良い。 ・近世、近代の資料は非常に多いので、保管場所について議論しておいた方が良い。 <p>⑦秦佐八郎博士顕彰委員会委員選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見なし <p>⑧万福寺庭園の修復について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見無し
特記事項	
問合せ先	教育部 文化財課 電話 (0856) 31-0623